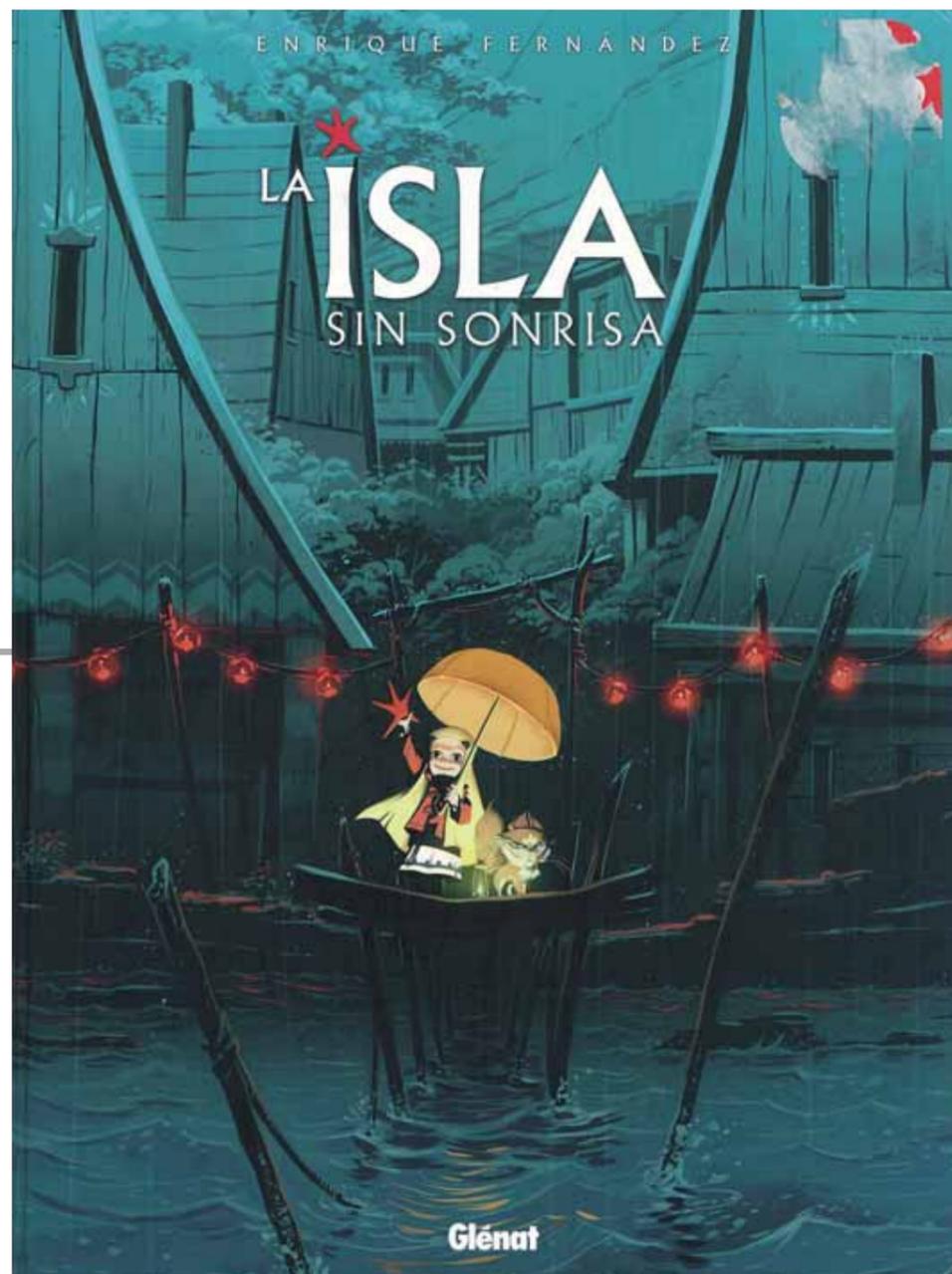


La Isla sin Sonrisa

Enrique Fernández/ 出版国・地域：スペイン



La Isla sin Sonrisa

Enrique Fernández/ 出版国・地域：スペイン

"Para mi familia"

002

LA ISLA SIN SONRISA

Titulo original: *L'île sans sourire*

© 2009 Éditions Glénat / Drugstore / Enrique Fernández

© 2009 Ediciones Glénat España, S.L.
 Todos los derechos reservados.
 Ninguna parte de este libro puede ser reproducida ni incorporada a un sistema informático, ni está permitida su transmisión en cualquier forma o por cualquier medio, sea éste electrónico, mecánico, por fotocopia, por grabación o por otros métodos, sin el permiso previo y por escrito del editor.
 Las infracciones se perseguirán según la Ley.

Edición española:
 Director editorial: Joan Navarro
 Diseño gráfico: Luis Domínguez, Gus López y Dani Barbero
 Redacción: Eva Siles y Rosa Martí
 Rotulación: Idiola Iribertegui
 Editor: Félix Sabaté

Ediciones Glénat España, S.L.
 C/ Tánger 82,1º
 08018 Barcelona
 e-mail: info@edicionesglénat.es
 www.edicionesglénat.es

ISBN: 978-84-8357-908-4
 Depósito legal: B-17171-2009
 Impreso por Aleu, S.A.
 Printed in Catalonia

ディーンの旦那、ユルクカニはあれでさあ。
 ユルクカニの鯨獲りたちの忘れられた悲しい島ですぜ。

エキゾチックを
 愛する観光客には
 あまりにも近く、
 気楽な旅人には
 あまりにも遠すぎる。
 大陸（おか）では皆に
 忘れ去られた島でさあ。

いいですか旦那。
 ぴったり2週間後、
 正しくこの時間に
 この場所ですぞ。
 この島で迷子になった
 者は一人やそこらじゃ
 ありませんぜ。
 あっしらはお愉しみの
 クルーズー乗りじゃ
 ないですからな、
 もしその日ここに
 居なけりゃ、
 次の貨物船が来る
 2ヵ月先まで
 待たなきゃならんですぞ。



ここに居るさ。

003

あの旦那が船に乗ってから耳にした
 一番長い言葉があれだもんな。 まったく、なんて淋しい男なんだ。

La Isla sin Sonrisa

Enrique Fernández/ 出版国・地域：スペイン

うーむ。 カシヤッ、カシヤッ
あらまあ、私たちに何を持ってきてくれたのかしらね？
ねえ、太いお指の熊さん。

チャポツ

面白いわよ、相棒。
ここに新しい客人が
やってきたみたいよ。

004



チャポツ、チャポツ、
チャポツ、チャポツ

おじさんは
私たちの石を
見に来た人？

地質学者だ。

オオカミが
あんたを襲う
ところだと
思ったぜ。

おい、おーい！

あっち行け！あっちへ行くんだ！しっ！



いらっしゃい！

005

何で？
私何も悪いこと
してないよ。
それに、
私をずっと
守ると誓ってくれた
ジェミ王子が
あそこで見張って
くれているのよ。

La Isla sin Sonrisa

Enrique Fernández/ 出版国・地域：スペイン

あたしエリアノール・ミセ・ユキンデ。
“ユキンデ”はこの島の言葉で“ワンドフル”って
意味なの。エリって呼んでね。

ミランデル・ディーンだ。 宿で皆が待ってる。



私の叔母が迎えに行くように言ったの。
叔母は宿の主人よ。
おじさんをお迎えできてとっても喜んでたわ。
おじさんがこの5年間で3人目の宿泊客なの。

006



父と私は叔母さんと暮らしてるの。
でも今父は居ないわ。
今この村にはあまり人が居ないの。
春になったとたん、漁師たちはみんな父と一緒に出航しちゃったんだ。



もう何年も前から鯨を捕まえてないの。
だから他の大きな魚を見つけるために
もっと遠くまで航海しなきゃならないんだよ。

でも、それも悪くないよ。
だってみんなが帰ってくると、
お父さんはとっても興味深いおみやげを
遠くの港から持ってきてくれるんだもの。

ディーンさん
こっちです。

私たちと夕食を
なさりませんか？

部屋まで
お願いします。
疲れてるんです。
明日は
朝早いからです。

たとえば、見てこの服。
こんなに上品に縫い合わせられる
人は誰もいないよ！
蚕が自分でこしらえたに違いないわ！

さあ！
春のお祭りだよ！
おじさん、ここで一度に
村のみんなと知り合えるよ。

あんたの叔母さんを
呼んできてくれ。
俺はここで待ってる。



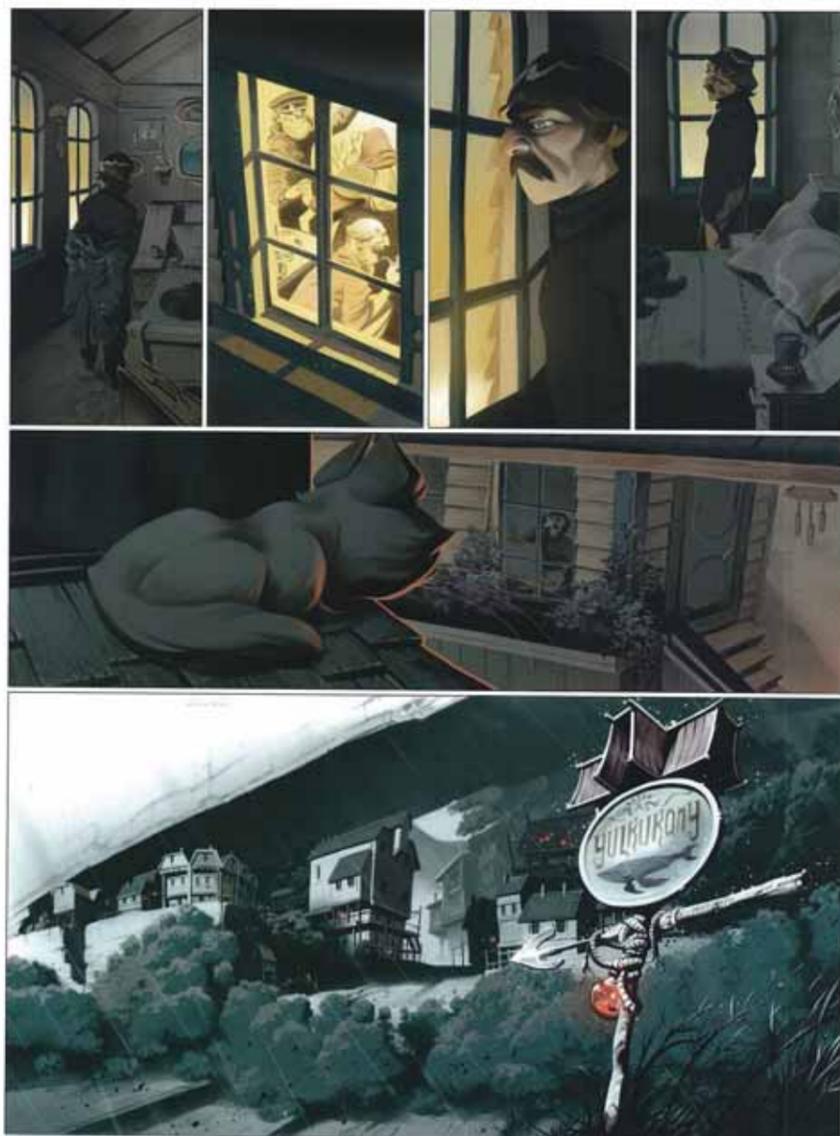
ナイトテーブルにあったかいスープがあるよ。
飲みたいだけ飲んでね。
この島では一晩中眠れるように、みんなそのスープを飲むんだ。

007

La Isla sin Sonrisa

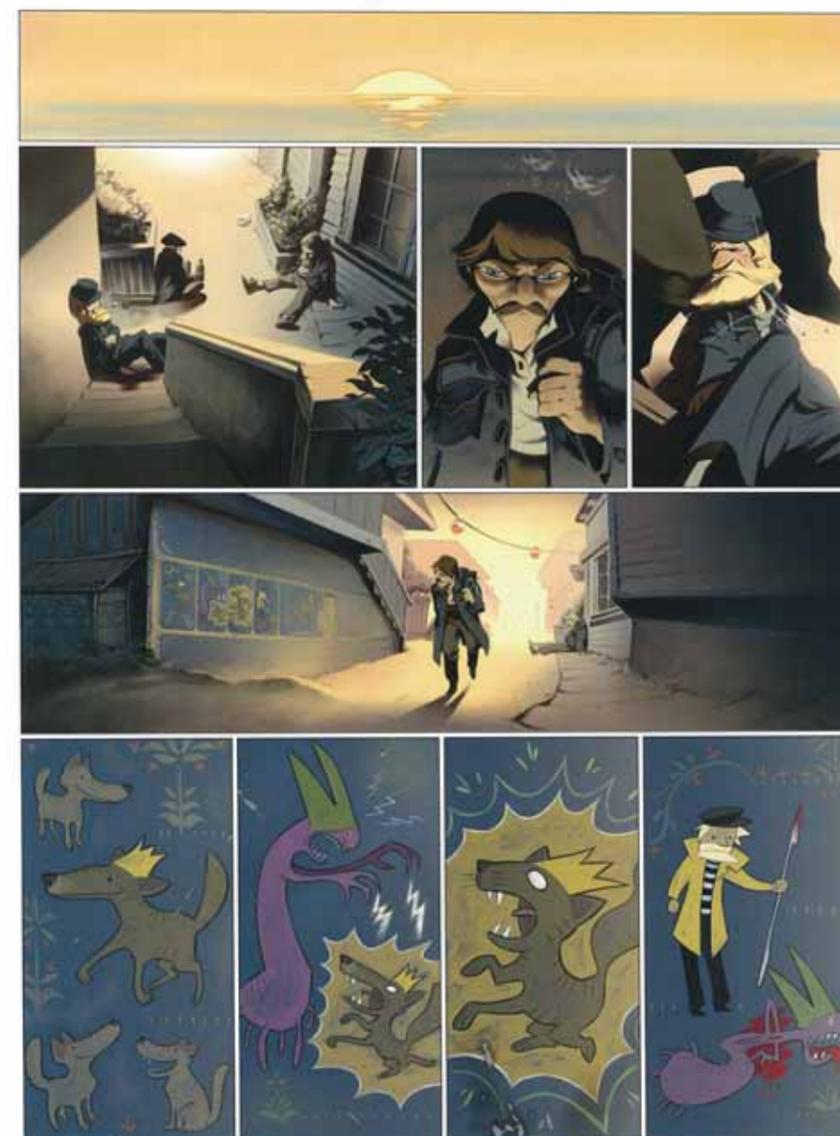
Enrique Fernández/ 出版国・地域：スペイン

008



8

009



9

La Isla sin Sonrisa

Enrique Fernández/ 出版国・地域：スペイン

010



えへん、えへん。

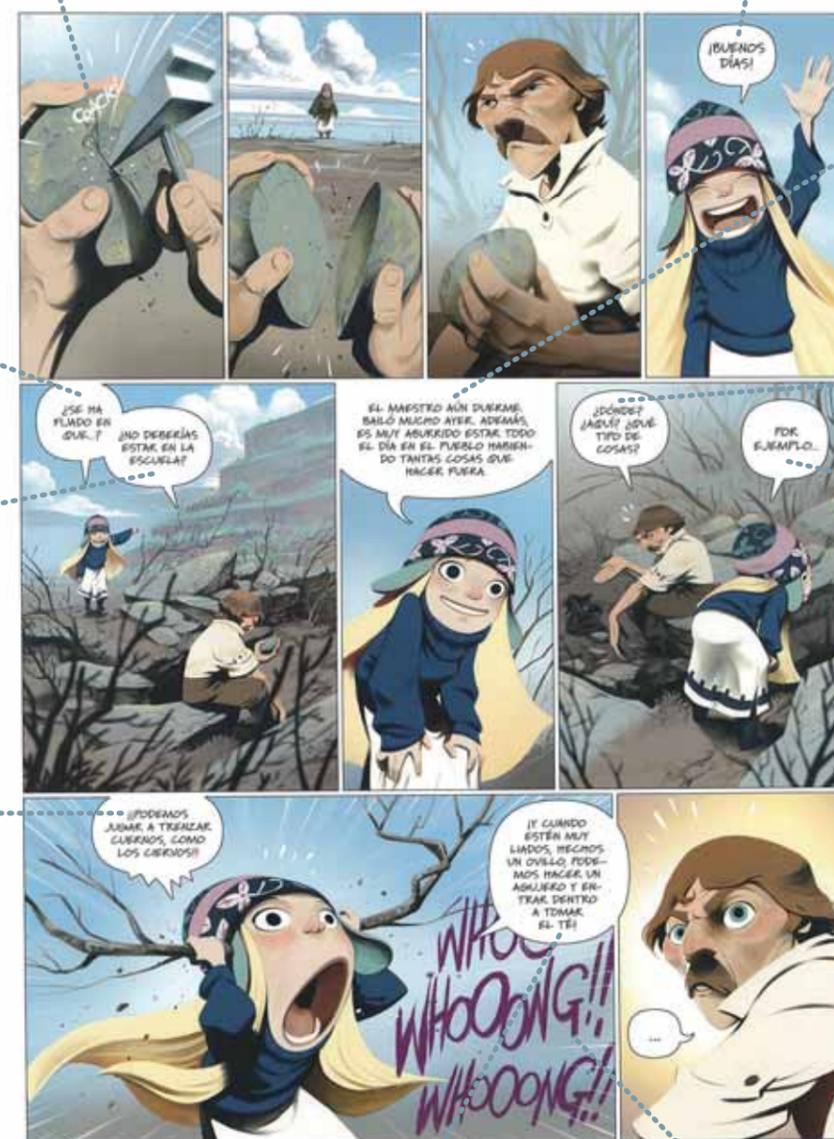
何見てるの？

学校に居るべきじゃないのか？

鹿のように、角を三つ編みにして遊ぶこともできるよ！

カキッ

おはよう！



先生は昨日いっぱい踊ったからまだ寝てるんだ。それに村には外でしなきゃならない事がいっぱいあるのに、ずっと学校に居るのは退屈だしね。

どこに？
ここにかい？
どんな事なんだ？

たとえば…

011

そしてすっごく絡み合っちゃったら、毛玉が一つできるんだよ。その毛玉に穴を開けて、その中に入ってお茶を飲むんだ！

ウォーッ、ワーッ！！